

温故地新フェスタ

平成24年10月31日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
e-meil pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www16.ocn.ne.jp/~piakaiso

やっぱり自宅がいいね！

使い方はいろいろ

資料館に『コタツ』が展示されています。このコタツを見た高齢者の方々が『猫コタツがあるよ』と、楽しいコタツ談義が始まりました。

『このこたつは、形が背中を丸めた猫に似ているから猫コタツと呼んでいた』『猫コタツを座っている後に置いて、着ているどてらの裾を猫コタツにかけると、ぬくぬくと背中に猫が居るように温かいから猫コタツと呼んでいた』『冬の間は猫コタツで暖を取りながら、よく縁側で針仕事をしたもんだ』と、話は付きません。



オランダ駐在から戻ってきた友人と資料館に遊びに行った時のこと。友人が、このコタツと同じ形のものがオランダにもあったと。

オランダのは木で出来ていて、オランダの木靴のようにきれいに絵が描いてあったと。日本は、布団やどてらなどをかぶせて暖をとっていましたが、オランダではスカートをかぶせて暖を取っていたと。

コタツの正式な名称は知りませんが、【猫コタツ】のほうが、ほのぼのとしたやさしい温もりを感じます。この猫コタツには、オランダと、どんな交流が、その昔にあったのか想像しただけでも心がぽかぽかしてきますよね。

回想法は道具？かな？

北名古屋市では、地域回想法を実践しています。10月27日北名古屋市で開催された、地域回想法事業10周年記念事業【温故地新フェスタ】に龍ヶ崎市回想法センターもポスターセッションに参加しました。

前日に開かれた回想法センターの意見交換会にも参加してきました。その席で、私たちの『障害者になっても、認知症になっても、残された機能を生かして在宅で自分らしく輝いて暮らす』を目的とした取り組、法則や、法律のような難しい【法】の回想法でなく、お箸とお茶碗のような方法の【法】やさしい回想法を実践していること。洗濯板や足踏みミシンと同じように道具として回想法を活用していることを紹介してきました。

私たちの回想法の取り組み、高齢者の残された機能を活かし、出来る人が出来ることを無理なく・楽しく・負担なく、自分らしく輝いて地域のボランティアとして暮らせるお手伝いをしている話など、有意義な意見交換が出来ました。

あの双子の姉妹、金さん銀さんもぼけ老人でしたが、社会のお役に立てることで元気に老後を過ごされました。『老後が心配』と、話していた金さん銀さんの言葉が忘れられません。

11月の予定

回想ガイド活動は、2日(金)、6日(火)、16日(金)、

昔の遊び体験教室は、24日(土)

開催場所は、歴史民俗資料館

開催時間は、13時30分～15時30分です

